

日本リアライズ

一樹百穫の人材養成と

マンション提供で躍進

(管仲)は「百年の計は人を樹うるに如かず。一樹一穫は穀なり、一樹十穫は木なり、一樹百穫は人なり」と説いた。穀物ならば種を一度植えるだけで一年後には収穫が期待できる。十年繰り返していけば木が成り実を結ぶかも知れない。しか

し、百年後にも収穫を望むのであれば、今から人材を育てるしかない。遠大な譬えではあるがこの珠言は、企業における人材育成の基軸を的確に言い当てている。日本リアライズ(株)(代表取締役・大橋 孝行氏)は、「人を稼ぐ」をテーマに掲げ

成長し続けてきている新築マンションの企画・開発・販売の先覚派。2009年1月設立の新進気鋭ながら、業界大手にも一歩も引けを取らない独自の企画開発力と、一人ひとりの営業マンが楽しく結果を出せるシステム、社風の構築で、その販売力は高い上昇軌道を維持して揺るぎない。マンションを売るといふ営業スタイルではなく、住まいを求める人へ誠心誠意を伝え接するライフプランアドバイザーであれという会社指針が伸

展の第一要因だ。まさに目の利益追求に走るのではなく、「理想の住まい」を提供してお客様に幸福な人生を送って頂きたい…とする正統志向こそ同社の原点でもある。家を買うことも人を育てることも、一樹一穫ではなく一樹百穫に通じている。人材の育成を企業成長の礎と定義づけ、各々が持てる能力と個性を發揮できる社内体制の充実に余念がない。活力が活力を加速させて躍進している典型だ。

新宿区新宿1・36・7